

スタープレミアム年金

STAR PREMIUM ANNUITY

[変額個人年金保険]

特別勘定運用レポート 2023年8月発行 (2023年7月末基準)

～ ご案内 ～

<特別勘定運用レポートについて>

- 当レポートは、特別勘定の運用概況や運用実績をお知らせするためのものです。
- 当レポートは、生命保険契約の募集および主たる投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 各データの基準日から特別勘定運用レポートのご提供まで、各種データの収集、加工等のためにお時間をいただいておりますことをご了承ください。

<クレディ・アグリコル生命からの情報提供>

- クレディ・アグリコル生命 Webサイト
 - ・最新のユニットプライスは当社Webサイトでご確認いただけます。
 - ・積立金額やご契約内容等は、当社インターネット・サービス マイページにてご確認いただけます。
<https://www.ca-life.jp/>
- クレディ・アグリコル生命 カスタマーサービスセンター
 - ・各種変更手続きやご契約内容に関するお問合せ等は下記までご連絡ください。



カスタマー
サービスセンター



0120-60-1221

受付時間：
月～金曜日 9:00～17:00
(祝休日・年末年始の休日を除く)

- ・消費税率の引上げにより、令和元年10月1日以降は信託報酬にかかる消費税率が10%になっております。
- ・当レポート中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・商品の詳細については、「契約締結前交付書面<契約概要／注意喚起情報>」「商品パンフレット」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」等でご確認ください。

特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名		特別勘定が投資対象とする投資信託名	特別勘定の運用方針	委託（運用）会社	信託報酬率（税込）
株式	日本株式（01）	大和住銀日本株式ファンドVA（適格機関投資家限定）	国内株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることが目標とします。	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	年率0.748%程度
	海外株式（01）	ラッセル・インベストメント外国株式ファンドⅠー4B（為替ヘッジなし）（適格機関投資家限定）	日本を除く主要国の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることが目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	ラッセル・インベストメント株式会社	年率0.88%程度
	新興国株式（01）	DWS世界新興国株式ファンドVA（適格機関投資家専用）	新興国各国の株式を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることが目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	ドイチュエ・アセット・マネジメント株式会社	年率1.045%程度
債券	日本債券（01）	大和住銀日本債券ファンドVA（適格機関投資家限定）	国内の公社債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に安定した投資成果をあげることが目標とします。	三井住友DSアセットマネジメント株式会社	年率0.429%程度
	海外債券（01）	iFree 外国債券インデックス	日本を除く主要国の公社債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることが目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	大和アセットマネジメント株式会社	年率0.198%程度
	新興国債券（01）	GIM FOFs用新興国ソブリン・オープンF（適格機関投資家専用）	新興国各国の公社債を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることが目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社	年率0.671%程度
	海外ハイイールド債券（01）	CA米国・ユーロ高利回り債ファンドVA（適格機関投資家専用）	米国および欧州のハイイールド債券（高利回り債券）を主な投資対象とする投資信託に主に投資することにより中長期的に高い投資成果をあげることが目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムンディ・ジャパン株式会社	年率0.209%程度（実質：最大年率0.8915%程度） ^{*1}
投資不動産	グローバルリート（01）	GAグローバルREITファンドVA（適格機関投資家専用）	日本を含む世界各国の不動産投資信託証券（REIT）を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって中長期的に高い投資成果をあげることが目標とします。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。	アムンディ・ジャパン株式会社	年率0.528%程度
金融市場	マネーパール（01）	CA マネーパールファンド（適格機関投資家専用）	円建の短期公社債および短期金融商品を主な投資対象とする投資信託に主に投資することによって安定的な運用を行います。	アムンディ・ジャパン株式会社	各月ごとに決定 ^{*2}

*1 この投資信託はいわゆるファンド・オブ・ファンズであるため、運用にかかる実質的な信託報酬は、当該投資信託と、その投資対象である他の投資信託の信託報酬等の合計となります。投資対象となる投資信託の組入状況によって、実質的な信託報酬は変動します。

*2 信託報酬率は、各月毎に決定するものとし、前月の最終営業日の翌日から当月の最終営業日まで信託報酬率は、各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.33を乗じて得た率（以下「当該率」といいます）とします。ただし、当該率が年0.055%以下の場合には、年0%超 0.055%（税込）以内で委託会社が任意に定める率とし、年0.385%超の場合には、年0.385%（税込）とします。
なお、当該指標が改廃等の場合は、委託会社が定める指標を用いることとします。

信託報酬のほか、信託事務に関する諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等がその他費用としてかかりますが、各投資信託の運用状況等によって異なるため、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難であり表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映され、お客さまに間接的にご負担いただくことになります。また、これら運用関係費用は運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更されることがあります。

特別勘定による運用について

- この商品の特別勘定は主に投資信託に投資し、その運用実績をもとに年金額、解約払戻金額などが変動（増減）します。そのため、他の保険種類に関わる資産とは独立した方針のもとで運用します。
- 各特別勘定の投資対象となる投資信託については、運用手法の変更、運用資産額の変動などの理由により、投資信託の種類、運用方針、運用会社を今後変更することがあります。
- この商品の特別勘定グループにおいて、今後新たな特別勘定を設定すること、すでに設定された特別勘定を廃止すること、および複数の特別勘定を統合することがあります。

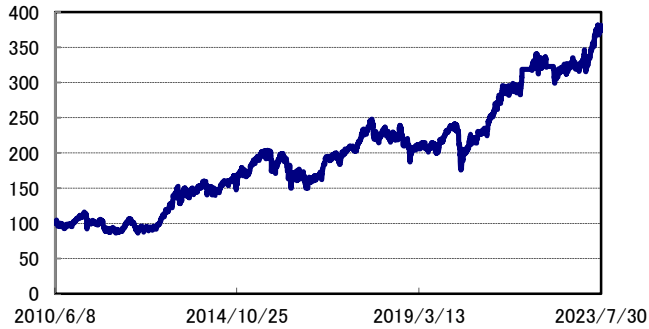
* 特別勘定についての詳細は「特別勘定のしおり」をご覧ください。

※最終ページにご注意いただきたい事柄（投資リスク、お客さまにご負担いただく費用等）を記載しております。必ずご確認ください。

特別勘定のユニットプライスと騰落率の推移

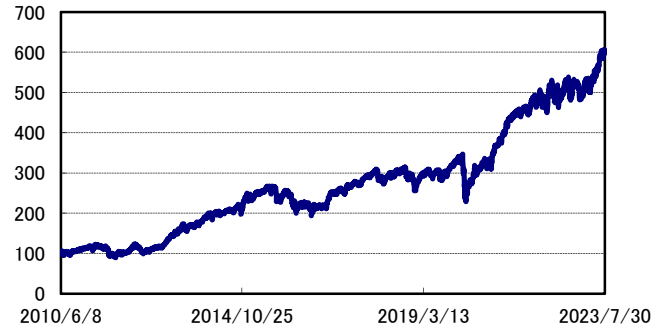
(2023年7月31日現在)

日本株式(01)



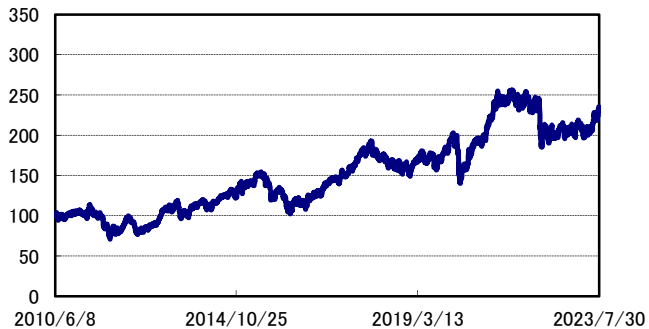
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	1.25%	投資信託	94.75%
381.09	3ヵ月	11.53%	現預金等	5.25%
	6ヵ月	16.65%		
	1年	20.36%		
	3年	78.22%		
	設定来	281.10%		

海外株式(01)



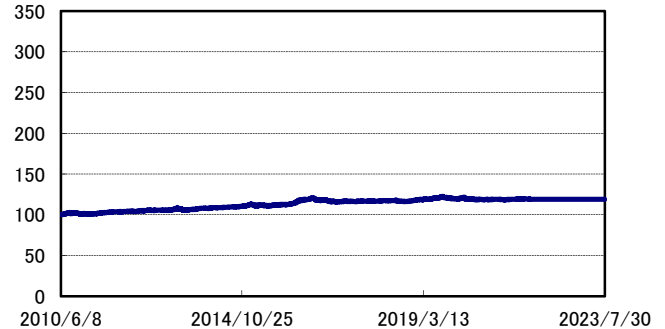
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	1.10%	投資信託	95.13%
606.19	3ヵ月	13.08%	現預金等	4.87%
	6ヵ月	19.12%		
	1年	20.28%		
	3年	96.18%		
	設定来	506.20%		

新興国株式(01)



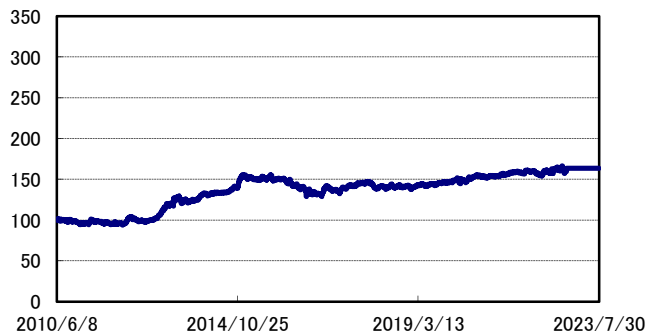
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	4.84%	投資信託	96.09%
235.48	3ヵ月	15.70%	現預金等	3.91%
	6ヵ月	9.30%		
	1年	15.57%		
	3年	22.70%		
	設定来	135.48%		

日本債券(01)



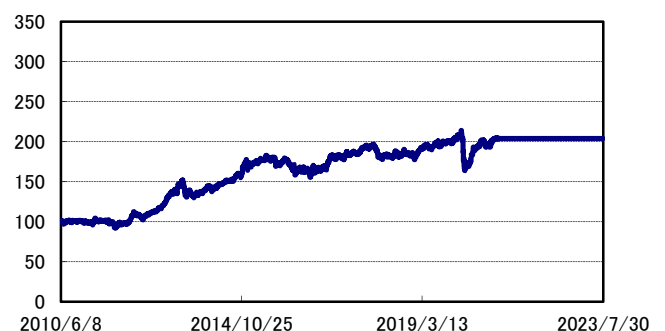
ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	0.00%	投資信託	(*注1) -
119.00	3ヵ月	0.00%	現預金等	-
	6ヵ月	0.00%		
	1年	0.00%		
	3年	0.02%		
	設定来	19.01%		

海外債券(01)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	0.00%	投資信託	(*注2) -
163.54	3ヵ月	0.00%	現預金等	-
	6ヵ月	0.00%		
	1年	-0.03%		
	3年	6.50%		
	設定来	63.54%		

新興国債券(01)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	0.00%	投資信託	(*注3) -
203.84	3ヵ月	0.00%	現預金等	-
	6ヵ月	0.00%		
	1年	0.00%		
	3年	5.20%		
	設定来	103.85%		

※資産構成比は、投資信託の購入・解約の申込実績を反映しています。

※ユニットプライスは、各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数化したものです。

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。

(※注1) 当資料の基準月末時点において、「日本債券(01)」の特別勘定資産は0となっています。ユニットプライスについても、2021年10月28日以降変動していません。

(※注2) 当資料の基準月末時点において、「海外債券(01)」の特別勘定資産は0となっています。ユニットプライスについても、2022年10月19日以降変動していません。

(※注3) 当資料の基準月末時点において、「新興国債券(01)」の特別勘定資産は0となっています。ユニットプライスについても、2021年1月15日以降変動していません。

「スタープレミアム年金」は特別勘定で運用を行う変額個人年金保険です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。

この運用レポートは、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

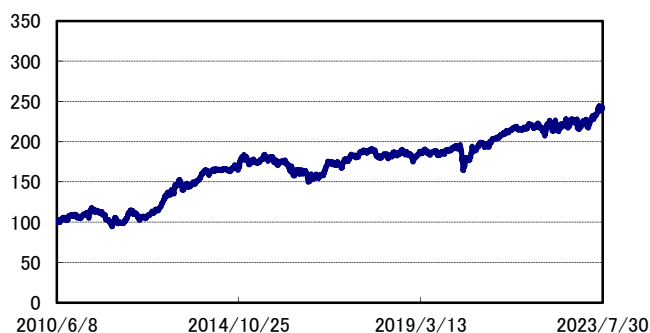
この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

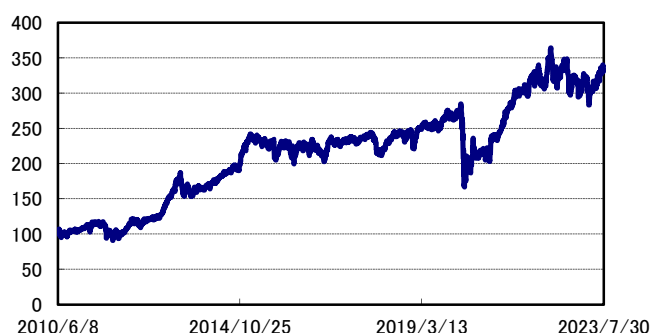
特別勘定のユニットプライスと騰落率の推移

(2023年7月31日現在)

海外ハイールド債券(01)



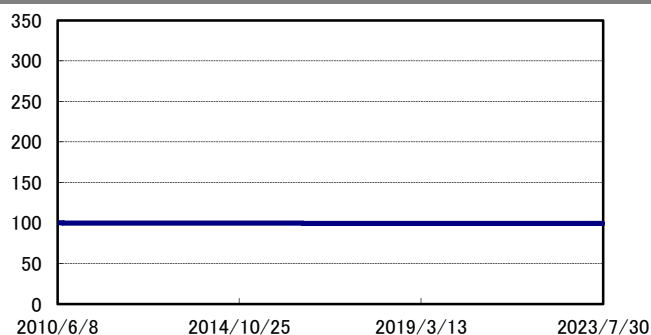
グローバルリート(01)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	騰落率	投資信託	資産構成比
241.97	3ヵ月	6.10%	96.36%	
	6ヵ月	9.10%		
	1年	10.30%		
	3年	24.73%	現預金等	3.64%
	設定来	141.97%		

ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	騰落率	投資信託	資産構成比
332.74	3ヵ月	7.89%	95.81%	
	6ヵ月	5.23%		
	1年	-1.88%		
	3年	56.64%	現預金等	4.19%
	設定来	232.74%		

マネーパル(01)



ユニットプライス	騰落率		資産構成比	
	1ヵ月	騰落率	投資信託	資産構成比
99.27	3ヵ月	-0.01%	50.04%	
	6ヵ月	0.00%		
	1年	-0.04%		
	3年	-0.16%	現預金等	49.96%
	設定来	-0.73%		

※資産構成比は、投資信託の購入・解約の申込実績を反映しています。

※ユニットプライスとは、各特別勘定設定時の資産を100として、その後の運用成果による資産の増減を指数化したものです。

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。騰落率は、小数点第3位を四捨五入しています。

・「スタープレミアム年金」は特別勘定で運用を行う変額個人年金保険です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。
 ・この運用レポートは、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本株式(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

大和住銀日本株式ファンドVA(適格機関投資家限定)

【運用会社】 三井住友DSアセットマネジメント株式会社

2023年7月31日 現在

◆ ファンドの特色

わが国の株式を主要投資対象とし、ファンダメンタル価値比割安性(バリュー)を重視し、収益性・成長性を勘案したアクティブ運用により、信託財産の長期的な成長を目指します。
TOPIX(東証株価指数・配当込み)をベンチマークとし、中長期的にベンチマークを上回る投資成果を目指します。

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	2.61%	16.15%	20.84%	26.18%	96.37%	327.89%
ベンチマーク	1.49%	13.10%	19.25%	22.98%	66.86%	233.94%
差	1.12%	3.05%	1.59%	3.20%	29.51%	93.95%

◆ ファンド概況

基準価額	42,789円
純資産総額	2,797百万円
設定日	2003年9月2日
決算日	原則11月19日
信託期間	無期限

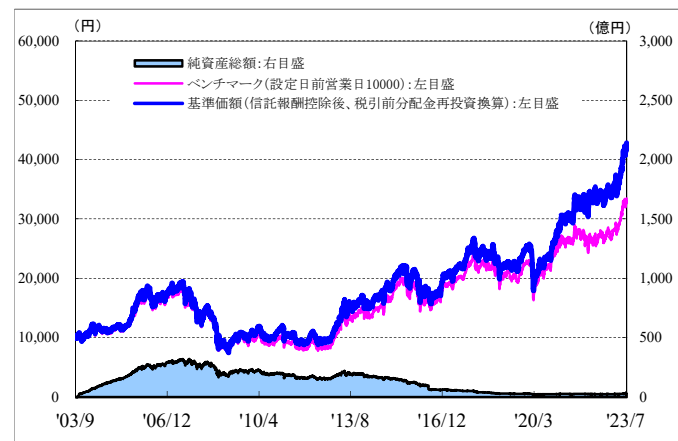
◆ 資産構成比

実質株式組入比率	99.05%
うち現物	99.05%
うち先物	0.00%
現預金等	0.95%

◆ 主なリスク

価格変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンドの設定日からの推移を示したものです。
- ・ベンチマークは当ファンド設定日の前営業日を10,000として指数化しております。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

日本株式市場は上昇しました。上旬は、ETF(上場投資信託)の分配金捻出売りの警戒感に加え、日銀が次の金融政策決定会合で現行の金融緩和策を見直すとの観測により米ドル安・円高が進んだことから下落しました。中旬は、米CPI(消費者物価指数)が予想以上に鈍化し、インフレ収束期待から反発しました。下旬は、日銀が金融政策決定会合で長短金利操作の運用柔軟化を決定したことを受けて、一時的に乱高下する場面がありました。しかし、緩和的な金融政策は今後も続くという見方が広がったほか、国内企業の決算発表において事前予想を上回る企業が多いことなどが支えとなったことから、市場は落ち着きを取り戻し、バブル後の高値を更新して終えました。

◆ 組入上位10銘柄※

	銘柄	業種	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	7.99%
2	日本電信電話	情報・通信業	4.50%
3	小松製作所	機械	3.85%
4	トヨタ自動車	輸送用機器	3.49%
5	TDK	電気機器	3.47%
6	豊田自動織機	輸送用機器	3.18%
7	富士電機	電気機器	2.98%
8	スズキ	輸送用機器	2.94%
9	ルネサスエレクトロニクス	電気機器	2.87%
10	JFEホールディングス	鉄鋼	2.47%
組入全銘柄数: 76 銘柄 上位10銘柄合計 37.73%			

◆ 組入上位5業種※

業種	比率
電気機器	18.33%
輸送用機器	13.33%
銀行業	12.50%
情報・通信業	8.63%
機械	6.28%

※各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、三井住友DSアセットマネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外株式(O1)

【特別勘定が投資する投資信託】

ラッセル・インベストメント外国株式ファンドIー4B(為替ヘッジなし)
(適格機関投資家限定)

【運用会社】 ラッセル・インベストメント株式会社

2023年7月31日 現在

◆ ファンドの特色

「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式に投資を行い、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。

- ・MSCI KOKUSAI(配当込み)をベンチマークとします。
- ・複数の運用スタイル、複数の運用会社(外部委託先運用会社)を組み合わせた『マルチ・スタイル、マルチ・マネージャー運用』を行うことにより、長期的により安定した運用成果を目指します。

＜『マルチ・スタイル、マルチ・マネージャー運用』の特徴＞

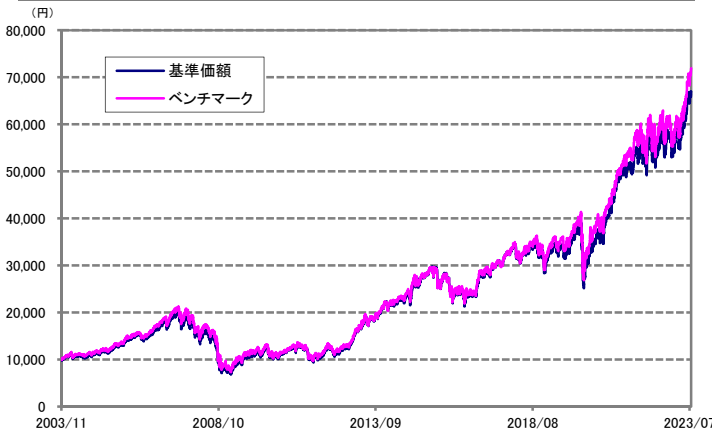
- 世界中から優れていると判断される運用会社を厳選します。
- 複数の運用スタイル、運用会社に分散しリスクの低減を図ります。
- 運用会社を継続的にモニタリングし、必要に応じてファンドで採用する運用会社の変更や追加等を行います。

【採用している外部委託先運用会社は次頁をご参照下さい。】

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.15%	13.75%	19.31%	20.34%	93.72%	569.49%
ベンチマーク	1.65%	13.35%	21.85%	21.16%	91.45%	619.05%

◆ 基準価額推移グラフ



※上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。なお、ベンチマークは当ファンド設定日前日を10,000として指数化しています。
※基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	業種	比率
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.38%
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	アメリカ	半導体・半導体製造装置	2.00%
3	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	1.93%
4	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	メディア・娯楽	1.67%
5	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.65%
6	UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ	ヘルスケア機器・サービス	1.63%
7	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	1.31%
8	MASTERCARD INC - A	アメリカ	金融サービス	1.27%
9	PEPSICO INC	アメリカ	食品・飲料・タバコ	1.20%
10	UBER TECHNOLOGIES INC	アメリカ	運輸	1.15%
組入全銘柄数: 556 銘柄				上位10銘柄合計 17.18%

※各比率はマザーファンドにおける株式等評価額合計に占める割合です。

◆ ファンド概況

基準価額	66,949円
純資産総額	6,066百万円
設定日	2003年11月18日
決算日	原則9月13日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質株式組入比率	99.33%
うち現物	93.68%
うち先物	5.65%
現預金等	0.67%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク等

◆ 市況コメント

7月の海外株式相場は上昇しました(MSCI KOKUSAI(配当込み)は前月末比1.65%上昇)。海外株式相場は、米国では、米連邦準備制度理事会(FRB)による利上げの長期化懸念が後退したことに加え、企業の好決算も追い風となったこと等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。また、欧州も、上旬は弱い経済指標等を背景に下落したものの、中旬以降は、欧州中央銀行(ECB)による利上げの長期化懸念が後退したこと等から上昇し、最終的に前月末を上回る水準で月を終えました。為替市場では、米ドル/円相場、ユーロ/円相場ともに円高となりました。

こうした中、ラッセル・インベストメント外国株式ファンドI-4B(為替ヘッジなし)の基準価額は前月末比1.15%上昇しました(ベンチマーク比較のため期間調整したマザーファンドの基準価額は前月末比1.38%の上昇)。7月は、2社がベンチマークを上回り、4社がベンチマークを下回りました。グロース型のモルガン・スタンレーは、国別配分がマイナス要因となりましたが、セクター配分、銘柄選択がプラスに寄与し、ベンチマークを上回りました。一方、バリュー型のサンダースは、国別配分、セクター配分、銘柄選択がともにマイナス要因となり、ベンチマークを下回りました。なお、マザーファンド全体では、銘柄選択の超過収益への影響は軽微でしたが、国別配分、セクター配分がマイナス要因となり、ベンチマークを下回りました。

◆ 組入上位5カ国、5通貨および5業種

	国名	比率		通貨	比率
1	アメリカ	67.50%	1	米ドル	67.65%
2	イギリス	5.34%	2	ユーロ	12.10%
3	スイス	4.93%	3	英ポンド	5.34%
4	フランス	3.94%	4	スイスフラン	4.93%
5	ドイツ	3.46%	5	カナダドル	1.76%

	業種	比率
1	ソフトウェア・サービス	9.12%
2	資本財	8.08%
3	銀行	7.73%
4	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	6.91%
5	金融サービス	6.81%

・当資料は、ラッセル・インベストメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外株式(O1)

【特別勘定が投資する投資信託】

ラッセル・インベストメント外国株式ファンド I - 4B (為替ヘッジなし)
(適格機関投資家限定)

【運用会社】 ラッセル・インベストメント株式会社

2023年7月31日 現在

外部委託先運用会社一覧(ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド)

「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」は、日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式を主要投資対象とし、安定的にベンチマーク(MSCI KOKUSAI(配当込み))を上回ることを目標として運用を行います。
マザーファンドでは、グロース型、バリュ型、マーケット・オリエンテッド型などの異なる運用スタイルを持つ運用会社を組み合わせ、超過収益の源泉や運用プロセスの分散を図りつつ、各運用会社の特性を最大に活かせるよう、運用を行っています。

運用会社	運用会社の特徴	運用スタイル	目標配分割合
パインストーン・アセット・マネジメント (カナダ) [投資助言]	パインストーンは、投下資本利益率(ROIC)や自己資本利益率(ROE)、経済的付加価値(EVA)を重視して、高クオリティで合理的なバリュエーションを備えた成長性の高い銘柄をボトムアップ・アプローチで選別します。また、ファンダメンタルズ分析では、企業の持つ競争力や参入障壁、経営陣の質などを重視します。なお、パインストーンの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。	グロース型	14.5%
モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント (米国) [投資助言]	モルガン・スタンレーは、投下資本利益率(ROIC)やフリーキャッシュフローに着目し、長期的な視点から、独自の競争力を持ち、成長性が期待できる銘柄を選別します。ベンチマークはあまり意識せず、新興国株式を含め、比較的銘柄数を絞ったポートフォリオを構築します。なお、モルガン・スタンレーの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。	グロース型	12.5% (6月末14.5%)
サンダース・キャピタル (米国) [投資助言]	サンダースは、グローバルな視点から投資テーマを的確に踏まえて個別銘柄を分析し、当該企業の持つ本質的な企業価値に対して大きく割安であると判断する銘柄を選別します。なお、サンダースの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。	バリュ型	16.5% (6月末17.0%)
ブジーナ・インベストメント・マネジメント (米国) [投資助言]	ブジーナは、各セクターに精通した社内アナリストが質の高いボトムアップ・リサーチを行い、収益力・バリュエーションの低下が一時的な要因か構造的な要因を見極め、一時的な要因が解消した後に収益力・バリュエーションの回復が期待される銘柄に投資することで高い超過収益の獲得を目指します。なお、ブジーナの投資助言に基づき、ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズが運用の指図を行います。	バリュ型	16.5% (6月末17.0%)
ニューメリック・インベスターズ (米国) [投資助言]	ニューメリックは、運用モデルの開発に優れたリサーチ陣容や経験豊富で優秀なポートフォリオ・マネージャーを備えており、バリュエーション、業績予想修正、株価モメンタム等の有効なファクターをバランスよく的確に捉える運用モデルを活用して、超過収益の獲得を目指します。	マーケット・オリエンテッド型	18.0% (6月末16.0%)
ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ (米国)	ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズは、委託会社が必要と判断した場合にマザーファンドの一部について運用を行います。当該部分においては、採用している他の運用会社の運用戦略の特徴を活かしながら、マザーファンド全体としてのポートフォリオ特性を補強するために必要なファクター(バリュやクオリティ、モメンタム、低ボラティリティ、高配当など)の運用を行います。	ポートフォリオ特性補強型	22.0% (6月末21.0%)

(注1)「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」では、マザーファンド全体の運用効率を高めること、各運用会社の入替え等に際しての資産の移転管理および一時的な運用、他の運用会社からの投資助言等に基づく運用、委託会社が必要と判断した場合におけるマザーファンドの一部についての運用等を行うため、「ラッセル・インベストメント・インプリメンテーション・サービシーズ(米国)」を採用しています。

(注2)「ラッセル・インベストメント外国株式マザーファンド」で採用している運用会社(外部委託先運用会社/投資助言会社)は当レポートの作成基準日現在におけるものです。運用会社は事前の通知なしに随時変更され、当レポートの作成基準日現在のもものと異なることがあります。

(注3)「運用会社」について、運用の指図にかかる権限を委託する運用会社を「外部委託先運用会社」、外部委託先運用会社が投資助言を受ける会社を「投資助言会社」といいます。

(注4)「目標配分割合」とは、運用会社を組み合わせる際に目安とする配分割合をいいます。

※2023年7月21日付で、各運用会社への目標配分割合を変更しました。

<運用スタイルについて>

○グロース型

特に企業の成長性に着目し、利益等の成長性が市場平均よりも高いと考える株式(グロース株)を主な投資対象とする運用スタイルをいいます。一般的には、一株当たり利益(EPS)の伸び率や自己資本利益率(ROE)の高い銘柄が対象となります。

○バリュ型

特に株価水準に着目し、企業の資産価値などから判断して株価が過小評価されていると考える株式(バリュ株)を主な投資対象とする運用スタイルをいいます。一般的には、株価収益率(PER)や株価純資産倍率(PBR)などが低い銘柄が対象となります。

○マーケット・オリエンテッド型

「グロース型」や「バリュ型」のように、特定の傾向をもつ株式のみに焦点を当てるのではなく、幅広い株式を投資対象とします。

○ポートフォリオ特性補強型

採用している他の運用会社の運用戦略の特徴を活かしながら、マザーファンド全体としてのポートフォリオ特性を補強するために必要なファクターの運用を行うことをいいます。

・当資料は、ラッセル・インベストメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、

内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

新興国株式(O1)

【特別勘定が投資する投資信託】

DWS世界新興国株式ファンドVA(適格機関投資家専用)

＜愛称: BRICsプラスVA＞

【運用会社】 ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

【投資顧問会社】 DWSインベストメントGmbH

2023年7月31日現在

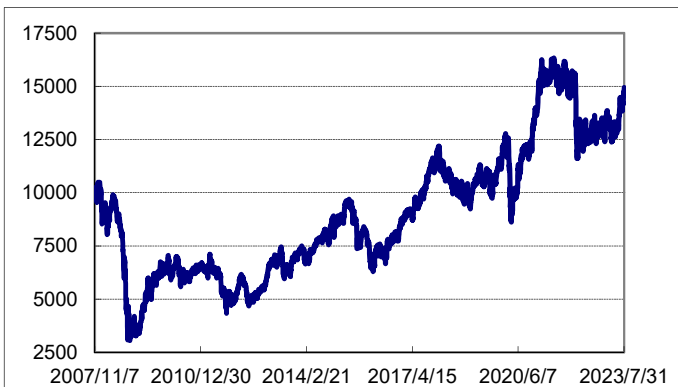
◆ ファンドの特色

・主として、ブラジル、ロシア、インド、中国(香港を含む)など新興国の企業の株式等を主要投資対象としたDWS世界新興国株式マザーファンドへの投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。
・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。
・毎決算時(原則として8月18日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日)に、信託約款に定める収益分配方針に基づき分配を行います。ただし分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合もあります。

◆ 基準価額騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	5.05%	16.46%	9.71%	16.59%	24.73%	49.43%

◆ 基準価額推移グラフ



基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄※

	銘柄	国名	業種	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	台湾	半導体・半導体製造装置	7.94%
2	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.95%
3	ICICI BANK LTD	インド	銀行	6.02%
4	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	メディア・娯楽	5.67%
5	ALIBABA GROUP HOLDING-SP ADR	中国	一般消費財・サービス流通・小売り	5.45%
6	WEG SA	ブラジル	資本財	4.54%
7	LARSEN & TOUBRO LTD	インド	資本財	4.14%
8	NASPERS LTD-N SHS	南アフリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	3.78%
9	POSCO HOLDINGS INC	韓国	素材	3.52%
10	HDFC BANK LTD-ADR	インド	銀行	3.05%
組入全銘柄数: 46 銘柄				上位10銘柄合計 51.07%

◆ ファンド概況

基準価額	14,943円
純資産総額	2百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則として8月18日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

株式組入比率	98.38%
うち現物	98.38%
うち先物	—
現預金等	1.62%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 市況コメント

7月の新興国市場は総じて堅調な展開となりました。
ブラジルのボブスバ指数は前月比+3.27%となりました。欧米における利上げサイクルの終了観測や海外の株高が追い風となったほか、税制改革法案の下院通過やインフレ見通しの低下を受けてブラジル中銀による利下げ観測が強まったことなども相場を押し上げる材料となりました。
ロシアのRTS指数は前月比+7.58%となりました。海外の株高が追い風となったほか、需給の逼迫観測等による原油価格の大幅な上昇が好感されました。なお、当ファンドでは今月も大半のロシア株の取引が実質的にできない状態が続きました。
インドのS&P-BSE SENSEX指数は前月比+2.80%となりました。インフレの鈍化と景気改善を示す経済指標や、海外機関投資家からの資金流入が継続したこと等が株価を押し上げる要因となりました。
中国のハンセン中国企業株(H株)指数は前月比+7.38%となりました。中国共産党の中央政治局会議で景気対策を強化し、内需拡大に注力する方針が示されたことや、当局によるハイテク企業への支援観測などを背景に株価が大きく上昇しました。
米当局の金融政策は今後のデータ次第ですが、利上げサイクルは終わりに近づいています。マーケットは、米連邦準備制度理事会(FRB)がいつまで引き締め的な金融政策を継続するかに注目していくでしょう。金利が長期に渡り高止まりするような環境が続けば、新興国株式が再評価される余地が乏しくなる可能性があります。
中国は、世界の他の中央銀行が金融引き締めを継続している一方で、成長を刺激するために金融緩和を継続しています。しかし、地方政府の債務、不動産販売の鈍化、個人消費の回復の遅れなど、中国が取り組むべき問題は数多くあります。また、アジア諸国における中国人観光客の回復ペースも予想以上に緩やかなようです。
長期的には、より質の高い企業にパフォーマンス面での優位性があると考えており、多くの銘柄は魅力的なバリュエーション水準で取引されています。こうした銘柄の株価は今後更りに試していくとみています。
なお、当ファンドではロシア株の取引が実質的にできない状態が続いています。ウクライナでは依然として戦闘が続いており、西側諸国とロシアの関係改善も見込まれない状況のなか、ロシアが非友好国とみなす非居住者投資家が取引を再開できるようになるまでには、かなりの時間を要すると思われます。引き続き情勢を注視しながら取引が可能となる等、何らかの進展があった時点で改めてさまざまな観点から状況を再評価する必要があると考えています。
＜参考＞ロシアの株式ならびに預託証券等(以下「ロシア株式等」)の評価について
2022年2月28日(現地時間)以降、ロシアの証券取引所が株式取引を停止し、また米国や英国等の海外市場もロシア株式等の取引を相次いで停止したことを受け、市場の流動性が大幅に低下している中、実勢を反映した時価の取得が困難な状況となっております。そのため、多くのロシア株式等について、ファンドの基準価額算出に使用する時には対円で為替変動のみが反映され、ロシア株式等の市場実勢が反映されていない状態が続いております。その後もロシア株式等の取引が事実上困難な状態が継続し、妥当性のある時価の取得が出来ない状況が続いていること等を受け、2022年3月22日時点の基準価額から、当ファンドで保有するロシア株式等の評価を「実質ゼロ評価」といたしました。
なお、当資料基準日時点においても前述の評価を継続しております。
※当資料基準日時点においても継続して取引が行われており、妥当性のある時価の取得が可能と判断される一部のロシア株式等については、従来通り、基準価額算出日の前営業日の終値で評価しております。

コメントは、DWSインベストメントGmbHの資料をもとに作成しています。

◆ 組入上位5カ国および5業種※

国名	比率
中国(含香港)	31.64%
インド	17.17%
韓国	16.74%
ブラジル	14.20%
台湾	9.42%

業種	比率
銀行	13.55%
素材	11.81%
一般消費財・サービス流通・小売り	11.69%
半導体・半導体製造装置	9.86%
資本財	8.68%

※ 各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

日本債券(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

大和住銀日本債券ファンドVA(適格機関投資家限定)

【運用会社】 三井住友DSアセットマネジメント株式会社

2023年7月31日 現在

◆ ファンドの特色

わが国の公社債を主要投資対象とし、金利予測およびクレジット判断等に基づくアクティブ運用により、信託財産の長期的な成長をめざします。

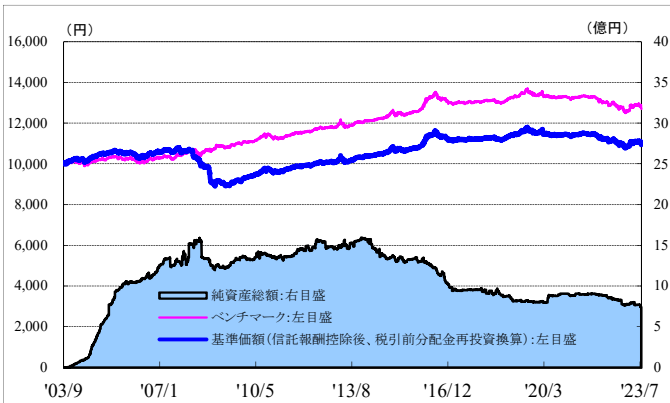
NOMURA-BPI総合指数をベンチマークとし、中長期的にベンチマークを上回る投資成果をめざします。

※NOMURA-BPI(総合)は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する指数であり、NOMURA-BPI(総合)に関する一切の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しております。また、同社は、ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。また、当ファンドを同社が保証するものではありません。

◆ 基準価額・ベンチマーク騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-1.46%	-1.37%	1.30%	-2.15%	-4.44%	9.45%
ベンチマーク	-1.56%	-1.38%	1.32%	-2.15%	-4.51%	27.11%
差	0.10%	0.01%	-0.03%	0.00%	0.07%	-17.66%

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・ベンチマークは当ファンド設定日の前営業日を10,000として指数化しております。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄※

	銘柄	償還日	クーポン	比率
1	449 2年国債	2025/6/1	0.01%	14.15%
2	450 2年国債	2025/7/1	0.01%	3.17%
3	185 20年国債	2043/6/20	1.10%	2.26%
4	451 2年国債	2025/8/1	0.01%	2.13%
5	158 5年国債	2028/3/20	0.10%	1.85%
6	362 10年国債	2031/3/20	0.10%	1.85%
7	363 10年国債	2031/6/20	0.10%	1.85%
8	149 20年国債	2034/6/20	1.50%	1.74%
9	79 30年国債	2053/6/20	1.20%	1.71%
10	78 30年国債	2053/3/20	1.40%	1.62%
組入全銘柄数: 148 銘柄		上位10銘柄合計		32.33%

◆ ファンド概況

基準価額	10,945円
純資産総額	738百万円
設定日	2003年10月1日
決算日	原則 11月19日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質債券組入比率	98.93%
うち現物	91.49%
うち先物	7.44%
現預金等	1.07%

◆ 主なリスク

金利変動リスク等

◆ 市況コメント

内田日銀副総裁のインタビューや金融政策決定会合での物価見通し引上げ観測報道等から金融緩和と政策修正への警戒が高まり、円金利は上昇基調で推移しました。月末に、日銀が金融政策決定会合において長期金利(10年国債利回り)の変動幅は0±0.50%程度を残しつつも、指値オペ(日銀が指定する利回りで国債を無制限に買い入れるオペ)の水準を1.0%へ引き上げたことから円金利は急上昇しました。

◆ 種別組入比率※およびポートフォリオの状況

種別	ファンド	ベンチマーク
国債	59.08%	84.80%
地方債	1.23%	6.04%
政保債	0.00%	1.34%
金融債	0.00%	0.31%
事業債	28.90%	5.90%
円建外債	0.00%	0.25%
MBS	2.22%	1.30%
ABS	0.00%	0.06%

	ファンド	ベンチマーク
平均複利利回り	0.67%	0.55%
平均クーポン	0.56%	0.76%
平均残存期間	9.84年	10.19年
修正デュレーション	8.79年	9.04年

※各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、三井住友DSアセットマネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外債券(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

iFree 外国債券インデックス

【運用会社】 大和アセットマネジメント株式会社

2023年7月31日時点

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

◆ ファンドの特色

- 外国の公社債に投資し、投資成果をFTSE 世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)の動きに連動させることをめざします。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。
- ・マザーファンドは、「外国債券インデックスマザーファンド」です。

■FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

◆ 基準価額騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-2.17%	4.34%	7.66%	1.24%	8.10%	27.02%
ベンチマーク	-2.42%	4.04%	7.30%	1.16%	8.22%	27.38%

※「基準価額騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。

◆ ファンド概況

基準価額	12,702円
純資産総額	71.36億円
設定日	2016年9月8日
決算日	11月30日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

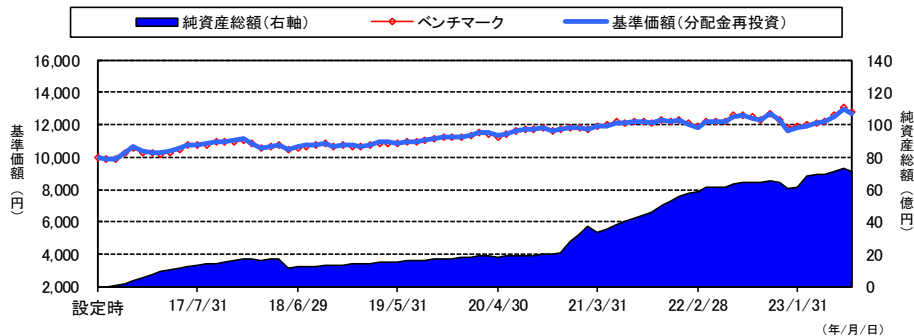
実質債券組入比率	97.39%
うち現物	97.39%
うち先物	0.00%
現預金・その他	2.61%

◆ 主なリスク

公社債の価格変動(価格変動リスク・信用リスク)、為替変動リスク、カントリ・リスク等

※上記リスクについては、大和アセットマネジメント株式会社の基準に基づき表記しています。

◆ 基準価額推移グラフ



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています。

※当ファンドはFTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとしておりますが、同指数を上回る運用成果を保証するものではありません。

※グラフ上のベンチマークは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

◆ 組入上位10銘柄

	銘柄名	通貨	償還日	比率
1	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	米ドル	2032/11/15	0.52%
2	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	米ドル	2032/02/15	0.47%
3	United States Treasury Note/Bond	米ドル	2031/02/15	0.47%
4	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	米ドル	2032/08/15	0.46%
5	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	米ドル	2032/05/15	0.46%
6	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	米ドル	2031/08/15	0.45%
7	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	米ドル	2031/11/15	0.44%
8	United States Treasury Note/Bond	米ドル	2030/11/15	0.42%
9	UNITED STATES TREASURY NOTE/BOND	米ドル	2033/02/15	0.41%
10	United States Treasury Note/Bond	米ドル	2031/05/15	0.39%
組入銘柄数: 962 銘柄		上位10位銘柄合計		4.48%

※ 比率は純資産総額に対するものです。

※ 債券 ポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等の各特性値(直接利回り、最終利回り等)を、その組入比率で加重平均したものです。

◆ 通貨別構成および債券 ポートフォリオ特性値

通貨	比率
米ドル	48.37%
ユーロ	33.59%
オフショア人民元	5.76%
英ポンド	4.93%
カナダドル	2.01%
豪ドル	1.50%
メキシコペソ	1.02%
マレーシアリンギット	0.53%
ポーランドズロチ	0.52%
その他	1.77%
合計	100.00%

	ファンド
最終利回り	3.94%
直接利回り	2.58%
残存年数	8.51年
修正デュレーション	6.66年

・当資料は、大和アセットマネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

新興国債券(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

GIM FOFs用新興国ソブリン・オープンF(適格機関投資家専用)

【運用会社】 JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社

【投資顧問会社】 J. P. モルガン・インベストメント・マネージメント・インク

2023年7月31日現在

◆ ファンドの特色

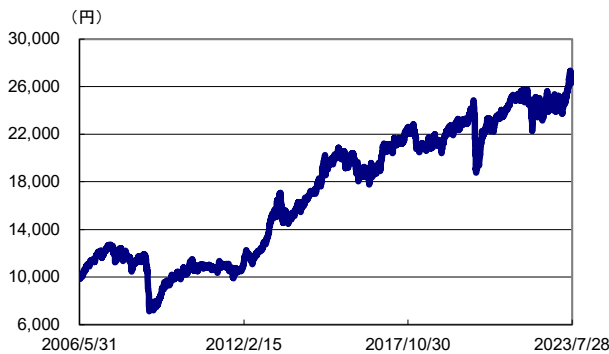
1.GIM新興国ソブリン・オープン・マザーファンド(適格機関投資家専用)(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券を主要投資対象とし、安定的かつ高水準の配当等収益を確保し、信託財産の長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
2.マザーファンドを通じて、主として世界の新興国の政府または政府機関の発行する債券に投資を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.60%	9.87%	10.06%	14.42%	21.19%	170.62%

*騰落率は、基準価額(信託報酬控除後)に税引前分配金を再投資して計算しております。

◆ 基準価額推移グラフ



上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。
基準価額は税引前分配金再投資、信託報酬控除後です。

◆ 組入上位10銘柄^{※1}

(2023年6月30日現在)

	銘柄	国	通貨	比率
1	TURKEY USD 9.875% JAN28	トルコ	米ドル	2.09%
2	S.AFRICA USD 4.3% OCT28	南アフリカ	米ドル	1.86%
3	DOMREP 4.875% SEP32 REGS	ドミニカ共和国	米ドル	1.74%
4	PEMEX 6.875%	メキシコ	米ドル	1.26%
5	TURKEY USD 5.25% MAR30	トルコ	米ドル	1.24%
6	COLOMBIA USD 8% APR33	コロンビア	米ドル	1.22%
7	TURKEY USD 4.25% APR26	トルコ	米ドル	1.21%
8	SAUDI ARABIAN 3.5% REGS	サウジアラビア	米ドル	1.11%
9	EGYPT USD5.75%MAY24 REGS	エジプト	米ドル	1.09%
10	PEMEX 6.35%	メキシコ	米ドル	1.09%
組入全銘柄数: 166 銘柄				上位10銘柄合計 13.91%

※1 比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

組入上位10銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。
クレジット・リンク債の国は、連動先債券の情報に基づき分類しています。

◆ ファンド概況

基準価額	7,340円
純資産総額	1,442百万円
設定日	2006年5月31日
決算日	原則毎月7日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質債券組入比率	100.33%
うち現物	97.19%
うち先物	3.14%
現預金・その他	2.81%

◆ 主なリスク

金利変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク等

◆ 市況コメント

当月の米ドル建て新興国債券の利回りは、前月末比で低下(債券価格は上昇)しました。また、新興国スプレッド(米国国債との利回り格差)は前月末比で縮小しました。国別のパフォーマンスでは、ウクライナやバナンなどが上昇した一方、マレーシアやクウェートなどは下落しました。
当月は、先進国のインフレに落ち着きが見られつつあることや良好なGDP(国内総生産)のデータから経済のソフトランディング期待が高まり、幅広いリスク資産にとって追い風となりました。新興国についてもインフレ圧力の緩和が見られており、中央銀行が今後利下げに向かう余地が広がったとの期待から新興国債券のパフォーマンスは堅調でした。一方で、米国の経済成長は予想を上回っており、市場における景気後退懸念は低下しました。
当月の当ファンドの基準価額(税引前分配金再投資ベース)は前月末比で小幅下落しました。保有債券の価格上昇などはプラスに寄与したものの、米ドルが対円で下落したことなどがマイナスに寄与しました。国別ではパキスタンなどの保有比率が上昇した一方、アゼルバイジャンなどの保有比率は低下しました。
2023年7-9月期は、米国経済は引き続き鈍化し、年末にかけて景気後退入りするとの見方を維持しています。一連の景気減速局面は先進国と新興国の両方に影響を与えると見込まれますが、景気後退に対する新興国の耐性が下支えとなっており、新興国と先進国の経済成長率の差は拡大すると考えています。また、新興国では先進国よりもインフレの鈍化が早いと見られているほか、米政策金利の最終到達点を取り巻く不確実性は高止まりしているものの、利上げサイクルは終盤に近く、金利のボラティリティ(変動性)は低下すると見込んでいます。
米国の景気後退が近づいていると考えられる中では投資家心理はリスク回避的になります。足元では新興国債券投資の多くはキャリア重視と年限の長期化に傾いています。そのような環境下、低格付けのポジションや投資家心理の動向に留意しつつ、スプレッドがタイト化する局面などを活用してポートフォリオのクオリティを高めることを検討します。
当ファンドの運用においては、引き続き市場の変動性に十分留意しながら、流動性が高く、財政を含む長期ファンダメンタルズが健全な国の中で、割安と判断する債券への投資を継続する方針です。

*運用状況及び運用方針については、実質的な運用を行うマザーファンドに係る説明を含まれます。

◆ 組入上位5カ国および5通貨^{※2}

国名	比率	通貨	比率
メキシコ	11.50%	米ドル	98.97%
トルコ	6.04%	ユーロ	1.03%
コロンビア	4.88%		
ドミニカ共和国	4.79%		
インドネシア	4.49%		

※2 各比率はマザーファンドベースで組入有価証券を100%として計算しています。
なお、クレジット・リンク債の国は、連動先債券の情報に基づき分類しています。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付	BB
平均デュレーション	6.71年
平均終利	8.32%

平均格付とは、債券資産等に係る信用格付を加重平均したものであり、当ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供したものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外ハイイールド債券(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA米国・ユーロ高利回り債券ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2023年7月31日 現在

◆ ファンドの特色

・ファンド・オブ・ファンズ的方式で運用することを基本とします。
・主として、米国のハイイールド債市場へ投資するファンドと欧州のハイイールド債市場へ投資するファンドに投資することにより、その実質的な運用はそれぞれの投資先ファンドが行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。

◆ 基準価額騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.83%	6.36%	9.50%	10.77%	25.82%	102.83%

◆ ファンド概況

基準価額	20,283円
純資産総額	5 百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

◆ ファンド内訳

TCWファンズ-TCWハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンド	49.00%
Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド	49.34%
現金等	1.67%

◆ 主なリスク

金利変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

7月は、FRB(米連邦準備理事会)の利上げ長期化に対する市場の見方が変動し、米CPI(消費者物価指数)ではインフレの鈍化が示されました。こうした環境下で、FRBは市場予想通り利上げを決定しました。米国経済のソフトランディングへの期待から株式市場は上昇し、米国ハイイールド債市場も上昇しました。

7月は、FRBとECB(欧州中央銀行)がいずれも予想通りに政策金利を引き上げました。ユーロ圏の第2四半期GDP(域内総生産)成長率は予想よりも堅調で、今年前半のリセッションの回避が確認されました。一方、7月のPMI(購買担当者景気指数)は予想を下回り、総合指数は6月から低下しました。7月の総合インフレ率は6月から減速したものの、コア・インフレ率は5.5%と予想を上回りました。米国では、第2四半期GDP(国内総生産)成長率は予想を上回りました。PMIは予想をやや下回りましたが、引き続き経済の拡大を示しました。さらに、6月のコア・インフレ率は予想よりも大幅に減速しました。こうした中で短期金利は小幅に低下(債券価格は上昇)、長期金利は小幅に上昇(債券価格は下落)しました。利上げの終着点が見え始めたこともあり、センチメントが改善したことでクレジットスプレッド(国債との利回り格差)は縮小し、欧州ハイイールド債市場のリターンはプラスとなりました。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付※	B+
平均最終利回り	7.33%
平均直接利回り	5.14%
修正デュレーション	3.46年

※平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

海外ハイイールド債券(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

CA米国・ユーロ高利回り債券ファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2023年7月31日 現在

投資先ファンド「TCWファンズ-TCWハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンド」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄

	銘柄	投資国	クーポン	償還日	比率
1	TENET HEALTHCARE CORP	アメリカ	4.875%	2026/1/1	3.08%
2	FORD MOTOR CREDIT CO LLC	アメリカ	3.370%	2023/11/17	2.84%
3	SPRINT LLC	アメリカ	7.875%	2023/9/15	2.63%
4	YUM! BRANDS INC	アメリカ	3.875%	2023/11/1	2.30%
5	CCO HLDGS LLC/CAP CORP	アメリカ	5.500%	2026/5/1	1.90%

◆ ポートフォリオの状況

平均格付※	BB-
平均最終利回り	7.62%
平均直接利回り	5.78%
修正デュレーション	3.95年
組入全銘柄数	178

◆ 格付別比率

格付	比率	格付	比率
AAA	3.53%	BB	12.45%
AA+	-	BB-	14.84%
AA	-	B+	10.90%
AA-	-	B	12.17%
A+	-	B-	4.76%
A	-	CCC+	2.87%
A-	1.07%	CCC	2.63%
BBB+	0.51%	CCC-	0.19%
BBB	6.02%	CC+以下 および無格付	1.34%
BBB-	14.29%	総計	100.00%
BB+	12.44%		

*現金等については「AAA」としています。

※ 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

投資先ファンド「Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド」の組入状況(純資産総額比)

◆ 組入上位5銘柄

	銘柄名	クーポン	償還日(含むコール日)	国名	比率
1	AMUNDI EURO LIQUIDITY SRI - Z ©※	-	-	その他※	2.63%
2	VMED 4.875% 07/28 REGS	4.875%	2028/7/15	イギリス	1.61%
3	AMUNDI EURO LIQ SHORT TERM SRI - Z※	-	-	その他※	1.46%
4	EDF VAR PERP EMTN	6.000%	2026/1/29	フランス	1.42%
5	BAMIII VAR 01/31 EMTN	3.250%	2031/1/14	イタリア	1.37%

※投資信託証券です。

◆ ポートフォリオの状況

平均格付※	B+
平均最終利回り	7.28%
平均直接利回り	4.67%
修正デュレーション	3.09年
組入全銘柄数	237

◆ 格付別比率

格付	比率	格付	比率
AA+	-	BB-	17.86%
AA	-	B+	11.97%
AA-	-	B	15.07%
A+	-	B-	6.58%
A	1.46%	CCC+	0.16%
A-	3.78%	CCC	0.16%
BBB+	-	CCC-	-
BBB	-	CC+以下 および無格付	0.73%
BBB-	3.99%	CASH	0.44%
BB+	16.77%	総計	100.00%
BB	21.03%		

※ 平均格付とは、基準日時点でファンドが保有している有価証券の信用格付を加重平均したものであり、ファンドの信用格付ではありません。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

グローバルリート(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAグローバルREITファンドVA(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2023年7月31日 現在

◆ ファンドの特色

・日本を含む世界各国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている不動産投資信託の受益証券または不動産投資法人の投資証券を主要投資対象とする「CAグローバルREITマザーファンド」の受益証券に主として投資し信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

◆ 基準価額騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.60%	8.27%	5.47%	-1.84%	55.91%	107.28%

◆ ファンド概況

基準価額	20,728円
純資産総額	24百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

◆ 資産構成比

実質不動産投資信託証券比率	98.34%
現預金等	1.66%

◆ 主なリスク

価格変動リスク、信用リスク、為替変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。

・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 市況コメント

7月の海外REIT市場は、月前半は米国の雇用統計や消費者物価指数が市場予想より低い水準だったことなどから、翌月以降の利上げ停止が期待され海外REIT市場は上昇しました。しかし、円高・米ドル安が大きく進行したため、円ベースでは下落となりました。月後半はFOMC(米連邦公開市場委員会)で利上げが決定されたものの、市場はすでに織り込み済みであったため、利上げ終了に向けた期待感などを背景に海外REIT市場は上昇しました。為替においても、円安・米ドル高傾向となり円ベースでの上昇に寄与しました。

日本のREIT市場は、月初は上昇して始まりましたが、日銀が金融政策を修正するとの観測や株式市場が軟調な動きとなるなか、一進一退の動きとなりました。その後は、植田日銀総裁が金融緩和を継続する姿勢を示したことなどから上昇幅を広げました。月末にかけては、日銀金融政策決定会合で、イールドカーブ・コントロールの運用柔軟化が決定されたことが嫌気され下落しました。

◆ 組入上位10銘柄※

	銘柄	国	通貨	比率
1	PROLOGIS	アメリカ	米ドル	8.37%
2	EQUINIX	アメリカ	米ドル	4.86%
3	PUBLIC STORAGE	アメリカ	米ドル	3.53%
4	EXTRA SPACE STORAGE	アメリカ	米ドル	3.47%
5	SIMON PROPERTY GROUP	アメリカ	米ドル	3.38%
6	REALTY INCOME	アメリカ	米ドル	2.54%
7	DIGITAL REALTY TRUST	アメリカ	米ドル	2.39%
8	AVALONBAY COMMUNITIES	アメリカ	米ドル	2.37%
9	EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ	米ドル	2.20%
10	WELLTOWER	アメリカ	米ドル	2.06%
組入全銘柄数:118 銘柄		上位10銘柄合計		35.18%

◆ 組入上位5カ国※

国名	比率
アメリカ	64.97%
日本	14.84%
オーストラリア	5.47%
イギリス	4.01%
シンガポール	3.20%

※各比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、

内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク・お客さまにご負担いただく費用等)を記載しております。必ずご確認ください。

主な投資対象となる投資信託の運用レポート

【特別勘定の名称】

マネープール(01)

【特別勘定が投資する投資信託】

CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)

【運用会社】 アムンディ・ジャパン株式会社

2023年7月31日 現在

◆ ファンドの特色

・主として本邦通貨表示の短期公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行うとともにあわせてコール・ローンなどで運用を行うことで流動性の確保を図ります。

◆ 基準価額騰落率

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.01%	-0.01%	0.00%	-0.07%	-0.18%	0.26%

◆ ファンド概況

基準価額	10,026円
純資産総額	465百万円
設定日	2007年11月7日
決算日	原則 2月15日
信託期間	無期限

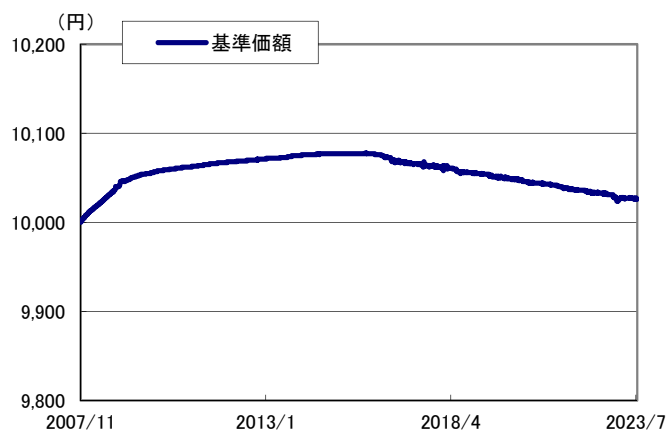
◆ 資産構成比

公社債	75.40%
現預金等	24.60%

◆ 主なリスク

金利変動リスク等

◆ 基準価額推移グラフ



- ・上記グラフは当ファンド設定日からの推移を示したものです。
- ・基準価額は信託報酬控除後です。

◆ 組入銘柄[※]

	銘柄名	償還日	比率
1	第128回共同発行市場公募地方債	2023/11/24	53.88%
2	第375回大阪府公募公債(10年)	2023/8/29	21.52%
組入全銘柄数 2 銘柄		合計	75.40%

※ 比率は純資産総額に対する比率です。

・当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社による運用報告を、クレディ・アグリコル生命保険株式会社より提供するものであり、内容に関して、クレディ・アグリコル生命保険株式会社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ・この運用レポートは、当商品の特別勘定資産の過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
 ・最終ページにご注意いただきたい事柄(・投資リスク ・お客さまにご負担いただく費用 等)を記載しております。必ずご確認ください。

ご注意ください事柄

＜投資リスクについて＞

- 変額個人年金保険「スタープレミアム年金」は、特別勘定の運用実績によって積立金額、死亡保険金額、解約払戻金額、および将来の年金額が変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- 特別勘定における資産運用には、価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク等のリスクがあり、運用実績によっては年金額や解約払戻金額等が一時払保険料の合計額を下回り、ご契約者に損失が生じるおそれがあります。これらのリスクはご契約者に帰属しますのでご注意ください。

＜お客さまにご負担いただく費用について＞

- この商品にかかる費用は、「契約初期費用」「保険関係費用」「運用関係費用」「年金管理費用」の合計となります。また、1保険年度あたり16回以上スイッチング(積立金の移転)を行った場合は、16回目から「特別移転費用」がかかります。

	項 目	内 容	費 用	ご負担いただく時期等
契約時 (増額時)	契約初期費用	ご契約の締結等のために必要な費用です。	一時払保険料 (増額保険料)に対し、 4.5%	特別勘定への繰入時に一時払保険料(増額保険料)より控除します。
積立 期間中	保険関係費用 ^{※1}	死亡保険金の最低保証や、ご契約の維持管理等に必要な費用です。	年率1.01%	特別勘定の積立金額に対して、左記の年率を乗じた金額の1/365を毎日控除します。
	運用関係費用 ^{※2}	特別勘定の運用に関わる費用で、特別勘定の投資対象とする投資信託の信託報酬等です。	信託報酬は 年率1.045%程度(税込) 信託報酬については、「特別勘定のしおり」をご確認ください。	各特別勘定が投資対象とする投資信託の純資産総額に対して、所定の年率を乗じた金額の1/365を毎日控除します。
	特別移転費用	スイッチングを行う場合で、1保険年度につき16回目からかかる費用です。	1回あたり 1,000円	1保険年度につき16回目からのスイッチング時に、積立金より控除します。
年金支払 期間中	年金管理費用 ^{※3}	年金のお支払いや管理等に必要な費用です。	支払年金額に対し、 1%	年金支払開始日以後、年1回の年金支払日に控除します。

※1 金融市場型特別勘定を選択した場合、金融市場型特別勘定の運用収益率が年率1.01%未満のときは、保険関係費用は1保険年度180日まで金融市場型特別勘定の運用収益相当額を上限とします。

※2 運用関係費用は、信託報酬に加えて信託事務に関する諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等がかかります。これらの費用は、各投資信託の運用状況等によって異なりますので、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。
また、運用関係費用は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。各特別勘定の運用関係費用について詳しくは、「特別勘定のしおり」をご覧ください。

※3 年金原資を一括でお支払いする場合、「年金管理費用」はかかりません。また、「年金管理費用」は、将来変更される可能性があります。

＜その他＞

- この商品は、クレディ・アグリコル生命保険株式会社を引受保険会社とする変額個人年金保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。
- 解約・一部解約した場合の解約払戻金額に最低保証はありません。
- 引受保険会社の業務または財産の状況の変化により、ご契約時にお約束した保険金額、年金額等が削減されることがあります。

当商品に関する詳細については、「契約締結前交付書面＜契約概要／注意喚起情報＞」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等でご確認ください。

【募集代理店】

【引受保険会社】



クレディ・アグリコル生命保険株式会社
〒105-0021
東京都港区東新橋1丁目9番2号 汐留住友ビル
カスタマーサービスセンター ☎0120-60-1221
Webサイト <https://www.ca-life.jp/>